

平成26年西東京市教育委員会第11回定例会会議録

- 1 日 時 平成26年11月29日（土）
開会 午前10時00分 閉会 午前10時26分
- 2 場 所 防災センター6階 講座室2
- 3 付議事件 別紙議事日程のとおり
- 4 出席委員 委 員 長 竹 尾 格
委員長職務代理者 宮 田 清 藏
委 員 森 本 寛 子
委 員 高 橋 ますみ
委 員 米 森 修 一
教 育 長 江 藤 巧
- 5 出席職員 教 育 部 長 櫻 井 勉
教育部特命担当部長 坂 本 眞 実
教育企画課長 早 川 礼 成
学校運営課長 宮 坂 哲 史
教育指導課長 田 中 稔
教育部主幹（教育指導課）兼統括指導主事 内 田 辰 彦
指 導 主 事 宮 本 尚 登
教育支援課長 渡 部 昭 司
教育部副参与兼社会教育課長 山 本 一 彦
公 民 館 長 田 中 政 治
図 書 館 長 奈 良 登 喜 江
- 6 事務局 教育企画課課長補佐 岡 本 範 子
教育企画課企画調整係長 倉 本 直 子
- 7 傍聴人 1人

平成26年西東京市教育委員会第11回定例会議事日程

日 時 平成26年11月29日（土） 午前10時から

場 所 防災センター6階 講座室2

第 1 会議録署名委員の指名

第 2 報 告 事 項 (1) 平成26年度における地方教育行政功労者表彰及び学校活動支援団体等に対する東京都教育委員会感謝状贈呈団体等の決定について（報告）

(2) 下野谷遺跡国史跡指定用地の取得について（地積更正）

(3) 下野谷遺跡の国史跡指定について（答申）

(4) 平成27年（平成26年度）西東京市成人式について

第 3 そ の 他

西東京市教育委員会会議録

平成26年第11回定例会
(11月29日)

午 前 10 時 02 分 開 会

議事の経過

○竹尾委員長 ただいまから平成26年西東京市教育委員会第11回定例会を開会いたします。

これより直ちに本日の会議を開きます。

日程第1 会議録署名委員の指名を行います。本日は米森委員にお願いしたいと思いますが、ご異議ございませんか。それでは、本日は米森委員にお願いいたします。

○竹尾委員長 日程第2 報告事項に入ります。質疑は後ほど一括して行いますので、説明をお願いいたします。

平成26年度における地方教育行政功労者表彰及び学校活動支援団体等に対する東京都教育委員会感謝状贈呈団体等の決定について（報告）、を行います。

○早川教育企画課長 それでは、平成26年度における地方教育行政功労者表彰及び学校活動支援団体等に対する東京都教育委員会感謝状贈呈団体等の決定について（報告）について報告をいたします。

お手元の資料を御覧ください。

○早川教育企画課長 はじめに、平成26年度地方教育行政功労者表彰でございます。

こちらは地方教育行政において、その功労が特に顕著な教育委員会の委員を文部科学大臣が表彰するものでございます。市町村の教育委員会におきましては、委員長として7年以上在籍していること、または委員として11年以上在職していること、もしくは教育長として7年以上在職していることが推薦の要件となっております。

今回、東京都としては、23区、26市から5人の方々が表彰されており、西東京市からは、平成13年3月31日から平成21年3月30日までの8年間及び平成21年6月24日から平成25年6月23日までの4年間の合計12年間在職されました元教育委員の角田富美子様表彰されました。

なお、こちらの表彰式につきましては、平成26年10月21日（火曜日）に文部科学省内におきまして開催されたところでございます。

続きまして、平成26年度学校活動支援団体等に関する東京都教育委員会感謝状贈呈でございます。

こちらにつきましては、東京都教育委員会が都内の公立学校における学校活動の支援、それから地域における児童・生徒の育成活動を続けている団体または個人に対して毎年感謝状を贈呈しているものでございます。

今年度は、学校教育活動支援部門といたしまして、田無第三中学校での活動に対し、田無三中応援団に感謝状が贈呈されました。こちらの田無三中応援団は、生徒の学力向上のための活動や生徒の交流、それから自主性を高めることを目的とした活動を行っております。学力向上のための活動の主なものといたしましては、近隣の大学に学生ボランティアの派遣要請を行いまして、放課後学習教室を行ったり、また、受験期の子どもを持つ親の体験を聞く会、こういったものを毎年実施したりするなどでございます。受験の体験を聞く会につきましては、事前にアンケートをとり、高校受験に向けた具体的な体験を聞くことができ、生

徒や保護者にとって大変貴重な機会となっております。また、生徒の交流や自主性を高めるための活動といたしまして、毎年、夏季休業中にカレーなどの調理実習と花火大会などを行う交流会を開催しております。

続きましては、学校安全支援部門でございます。住吉小学校での活動に対しまして、加々美京子様、それから鈴木和子様のお二人に感謝状が贈呈されました。こちらのお二方につきましては、昭和59年の住吉小学校開校当初からおよそ30年間毎日欠かさずに児童の登下校時間帯に交差点などに立ち、ボランティアとして児童の誘導をしていただいております。

なお、感謝状につきましては、東京都教育の日でもございました平成26年11月1日（土曜日）に東京都庁におきまして贈呈されたところでございます。

私からの報告は以上でございます。

○竹尾委員長 続きまして、下野谷遺跡国史跡指定用地の取得について（地積更正）、を議題といたします。

○山本教育部副参与兼社会教育課長 報告事項（2）下野谷遺跡国史跡指定用地の取得について（地積更正）につきまして報告いたします。

お手元の資料を御覧ください。

平成26年西東京市教育委員会第8回定例会で御審議いただきました議案第34号 教育財産の取得について（申出）は、公簿上の面積5,364.33平方メートルを地積といたしました。その後、地権者の方が測量に基づき地積を5,460.45平方メートルに更正いたしましたので、報告をいたします。

なお、この面積で西東京市議会第4回定例会に土地の買入れについてとして議案上程をいたしました。

私からは以上でございます。

○竹尾委員長 どうもありがとうございました。

続きまして、同じ下野谷遺跡の国史跡指定について（答申）、を議題といたします。

○山本教育部副参与兼社会教育課長 報告事項（3）下野谷遺跡の国史跡指定について報告いたします。

お手元の資料を御覧ください。

下野谷遺跡につきましては、本年7月31日に東京都を通じ文部科学大臣に国史跡にふさわしいとの意見具申を行いました。

1ページに記載されておりますように、文化庁におきましては、文化審議会に諮問をいたしました。文化審議会の文化財分科会において専門的な審議を行い、議決を経た後、11月21日に文化審議会から文部科学大臣に史跡等の指定について（答申）がされました。この答申にて下野谷遺跡は史跡名勝天然記念物の史跡に新指定されました。この結果、今年度内に官報告示がなされ、正式に指定がされる予定と伺っております。

7ページを御覧ください。国史跡指定地及び指定候補地をお示ししております。

太線内、白い部分が今回の指定の対象地でございます。今後の指定候補地につきましては網かけをさせていただいた部分でございますが、同意をいただく中で追加指定を要する範囲と考えております。

なお、最終的な指定範囲につきましては、史跡の調査及び試掘並びに今後、市民、専門家を含めて検討することとなります下野谷遺跡保存管理計画で定める予定としております。

私からは以上でございます。

○竹尾委員長 どうもありがとうございました。

続きまして、平成27年（平成26年度）西東京市成人式について、を議題といたします。

○山本教育部副参与兼社会教育課長 報告事項（4）平成27年（平成26年度）西東京市成人式につきまして報告いたします。

お手元の資料を御覧ください。

第4の実施日でございますが、平成27年1月12日の成人の日に開催いたします。

第5の会場でございますが、保谷こもれびホールで開催いたします。

第6の対象者でございますが、平成6年4月2日から平成7年4月1日までの出生者でございます。ちなみに、11月25日現在でございますが、市内の対象者といたしましては2,060人となっております。

第7の実施時間でございますが、昨年度と同じ時間での開催いたします。第1回目の受付時間が9時半から、式典の開始時間を10時15分からといたします。第2回目につきましては、受付時間が10時30分から、式典の開始時間を12時15分からといたします。

第8の実施区分でございますが、会場の収容人数を考慮いたしまして、現住所の中学校区域を基準に第1回、第2回に分けて実施する予定としております。内訳は表のとおりでございます。

お手数ですが、裏面を御覧ください。

第10の式典の概要でございますが、今年も昨年に引き続き新成人にとりましてより身近な成人式となりますように式典を行います。具体的には、アトラクションを田無第二中学校和太鼓部の演奏によるものとし、中学生には将来の新成人への思いをさせていただくとともに、新成人には後輩からのお祝いを受けていただく形といたしました。また、新成人の挨拶は、昨年同様、全校から1人ずつの挨拶とし、出席者にとってより身近な式典となるような構成といたしました。出席者から好評いただいております中学校時代の恩師などのビデオメッセージも今年も引き続き実施いたします。

なお、司会者につきましては、市内の武蔵野大学に御協力をいただきまして、放送研究部より2名の司会者を派遣していただき、実施することといたします。

第11の記念品でございますが、昨年同様、多色ボールペンにする予定でございます。

第13のその他でございますが、円滑な式典運営を行うため、今年度におきましても西東京市交通安全協会及び田無警察署の御協力をお願いするなど、必要な体制をとってまいりたいと考えております。

私からは以上でございます。

すみません。第7の実施時間で時間を少し間違えて発言したようでございます。申し訳ありません。もう一度繰り返します。第2回目につきましては、受付時間が10時30分から――失礼しました。受付時間が11時30分から、式典の開始時間を12時15分からといたします。すみません。訂正させていただきます。

- 竹尾委員長 説明が終わりました。質疑を受けます。
- 宮田委員 下野谷遺跡が指定されたということは大変うれしい、いいことだと思うんですが、その後の計画というのをまだ私は聞いていないんですけれども、どんなことをお考えなんですか。
- 山本教育部副参与兼社会教育課長 まず、二つお話をさせていただきたいと思います。
- まず、先ほど7ページを御覧いただいたときに、今後の指定候補地ということで、網かけの部分について説明させていただきました。今後は、ここにお住まいの方、あるいは地権者の方に国指定に向けての御同意をいただいて、国で追加指定をしていただいて、国史跡として範囲を確定していくという作業が1点ございます。
- もう一つ、全体の保存管理につきましては、今後、2年間ほどかけて計画を作成いたします。地域の住民、あるいは専門家などが入った策定委員会を設置いたしますが、そこで保存管理計画というのを具体的に作成いたします。この計画に沿って対応していくということになります。
- 宮田委員 せっかく、また網かけも広くなるのは大変結構なんですが、草ぼうぼうで何にもない、行っても、普通の人だとわけわからないというようなことがないように、また、だからといってお金がかかり過ぎて本市で維持できなくなってしまうというようなことも含めて、十分お考えいただきたいと思います。
- 竹尾委員長 説明板とかね、そういうのが必要ですね。
- 入れるように――誰も指定したら入れなくなってしまうの。
- 山本教育部副参与兼社会教育課長 今の御指摘の部分でございますが、現状考えているのは、ここは下野谷遺跡公園がまず真ん中にごございます。その両隣の現在は生産緑地等農地になっているところでございますけれども、ここにつきましては、除草は来年度予算として計上いたしておりますけれども、一般的な入場については御自由に入っていただけるように考えてはございます。
- それから、先ほど保存管理計画で最終的に管理方法を含めて定めていきますという報告をさせていただきましたが、その間につきましては、最小限と言ったほうがよろしいんでしょうか、維持管理については担当課として配慮してまいりたいというふうに考えております。
- 宮田委員 表彰のことはもう既に終わったということでお聞きして、それは大変結構だと思っております。これから、小学校とか、お医者さん、校医の先生方とか、表彰があると思うんですね。それは、私は、できるだけ市民、在住者であれば、特に小・中学校のお子さんを表彰したほうが良いと思うんです。例えば私立や国立の小・中学校に行っていると実際に情報がないから表彰できないと思うんですね。だから、表彰しますということと、それ用のドキュメントを学校等から出してくだされば市で市長以下教育委員長さんが表彰するというのをいれて、できるだけ多くの人を表彰したほうが良いと思うんですけれども、いかがでしょうか。
- 早川教育企画課長 ただいまの御意見を受けまして、市内の方で表彰の対象になれる方が漏れなく拾っていきえるように取り組んでまいりたいと考えます。
- 宮田委員 ですから、具体的には、市の広報がありますよね、あれに出して、それで学校か

らの証明書をつけていただければ市として表彰しますとか、何かそういうことをうまく書いて、それでも漏れた場合にはやむを得ないと思うんですけども、それでいかがかと思うんですけども。まあ、ほかでも方法があったら考えていただきたいと思います。

- 竹尾委員長 結構私立とか国立に行っている方も――。
- 宮田委員 多いと思うんですね。
- 竹尾委員長 いらっしゃる。
- 高橋委員 成人式のアトラクションのことなんですけれども、これは田無第二中学校の和太鼓部の演奏が、1回目も2回目もこちらがということなんですか。
- 山本教育部副参与兼社会教育課長 そのとおりでございます。
- 高橋委員 このアトラクションは、毎年、中学校で持ち回りというような感じで決められているのでしょうか、それとも手を挙げてくださったところをお願いしているという形でしょうか。
- 山本教育部副参与兼社会教育課長 なるべく多くの学校にやっていただきたいという希望はこちらとしても持っているところでございます。しかしながら、中学校のそれぞれの事情等がありまして、今年度につきましては田無第二中学校の和太鼓部が1部、2部を担当する形になったところでございます。
- 高橋委員 寒い中ですし、中学校の先生もこのときに合わせて大変練習してくださって、この日、子どもたちも一生懸命やってくださっているんですけども、成人式ということで、やはり集中して聞いていないときもありますよね、新成人が。それはしょうがないと思うんですけども、何となく子どもたちに対する、何かお疲れさま的なことがあまりなかったような気がするので、そこはもうちょっと、中学生に何か、声をかけてあげるだけでもいいんですけども、ああ、やってよかったなというような感じがもう少し実感してもらえたらいいかなと思います。
- 山本教育部副参与兼社会教育課長 今の御指摘でございますが、昨年度から中学校の部活動の方たちに協力をいただいているという形になってございます。
昨年度もそうだったんですが、演奏を1部で仮に和太鼓がやったとすると、演奏が終わった後に2部の成人式の儀式そのものもそこにとどまって一緒に見ていらっしゃいました。
それと、私どもとしては、当然に出演していただくわけですからそれ相応の挨拶は当然させていただきますし、それからあと、記念として出演者皆さんに、当日の写真を実は撮っておりまして、演奏している写真を伸ばしてお渡ししているという対応をとってございます。
- 高橋委員 そうですか。ありがとうございます。またよろしくお願いします。
- 米森委員 史跡に指定されるというのは喜ばしいことだと思いますので、ちょっと初歩的な質問で恐縮ですが、2ページの天然記念物、史跡と名勝と、天然記念物って3種類ありますよね。どれぐらいのレベルかとイメージするために、よく我々が知っているところだと、史跡になるとどういったところがほかにあるか教えていただければ。名勝とかですね。例えば天橋立だとこれに入るとか。
- 宮田委員 名勝じゃない。
- 米森委員 名勝ですね。史跡だと。

- 坂本特命担当部長 自然景観の関係は名勝になりますね。三保の松原とか、何かああいうものですね。
- 米森委員 あと、史跡になると。
- 宮田委員 建物の跡とか。古墳とか。歴史上の。
- 米森委員 あ、歴史上の跡ですね。
- 宮田委員 人間が加わった。名勝は天然。
- 米森委員 歴史的な位置付けがあると認められたということでいいですね。
- 竹尾委員長 ほかに質疑はございませんか。——質疑を終結します。
- 以上で報告事項を終わります。
-

- 竹尾委員長 日程第3 その他、を議題といたします。教育委員会全般についての御質問等ございましたら、よろしく願いいたします。——質疑を終結します。

以上でその他を終わります。

以上をもちまして平成26年西東京市教育委員会第11回定例会を閉会いたします。どうもありがとうございました。

午 前 10 時 26 分 閉 会

西東京市教育委員会会議規則第29条の規定によりここに署名する。

西東京市教育委員会委員長

署 名 委 員